

地域密着型サービス運営推進会議

令和6年度第6回報告書

日 時： 令和7年3月19日（水）14時

施設形態：グループホーム

会 場： たくひの里 ホール

参加者

利用者代表	2人	地域代表	1人
利用者家族	1人	高齢者安心支援センター	1人
ボランティア代表	1人	市職員	1人
管理者	1人	その他（職員）	1人

1、ご利用者の様子

<要介護度>

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4名	4名	4名	4名	2名

*男性1名、女性17名 平均年齢90.4歳 平均介護度 2.8

2、日常の様子

別紙（たくひ通信）写真資料参照

3、感染対策

インフル・コロナ予防対策周知

感染症の予防及びまん延防止の研修

4、研修・会議

・職場会議

ハラスメント研修 指針とアンケート

看取り研修

5、集団指導

3月14日 14時から16時 オンライン研修

6、外部評価について

自己評価についての検証

○41 42 本人主体の暮らし

面会の状況の質問あり。状況や希望に応じて対応しており、玄関や居室の方で面会されている。ご家族代表からも「毎月のお便りでいろんなことをさせてもらってよくしてもらっているのが分かり感謝している」と言っていた。

○43 44 45 生活の継続性

入居者や家族に配慮された取り組みが行われていると意見をいただいた。利用者の中でも出掛けたがらない方も多いが、いざ出ると喜ばれる方もいる。施設の庭に桜の木があることもあり、去年は庭でみんなで花見をした。ご家族より「以前花の郷と一緒に出掛けた時は母も家族も喜んでいた」とお言葉をいただいた。

○46 47 48 本人が持つ力の活用

入浴は主に何時から？と質問があり、予定は組んでいるが、利用者の思いや体調に合わせて変更もしている。お風呂場を改装し、利用者の方にも「きれいになった」と喜んでいただいている。外出がコロナ以降ほとんどできていない。感染症が消えることはないので、以前のように活動を再開できるといいと意見をいただいた。

○49 総合

・外部との交流などできていないところもあるがしょうがないところもある。職員が入所者の対応も頑張っておられると思うので感染対策をしながら地域の方々との交流などを少しずつ対応していければいいと思う。

・たくひの里の色があっていいと思う。会議の中でも職員と利用者が話をしており、利用者が気軽に関わっている様子を見ることができた。

・家族との関りも大切にされている。これからも続けてほしい。暖かくなるのを待って外出できるといい。

・職員が母の体調の変化をこまめに教えてくださる。本人も「困ったことない、いい具合にしてもらっている」と言っている。等意見をいただいた。